

金森一丁目町内会 「行事に関するアンケート」 調査結果と考察

配布日:令和8年1月11日

配布部数:372部

回収日:令和8年2月14日

回収部数:251部

回収率:67.4%

金森一丁目町内会

【回答者年齢】

○30代以下 9名 ○40代 33名 ○50代 36名 ○60代 66名
○70代以上 104名 ○記入なし 3名 計251名

※ ご参考意見として

- ① 「回答者年齢を『70代以上』」で終わらせず、80代・90代という欄も設けたほうがよい
- ② 高齢者は増加しているから、その年齢と人数は把握しておくべきであるとの意見がありました。次回は考慮いたします。

1. 本年度の行事に関して

A. 参加した行事

- ① 夏祭り 13名
- ② 子ども神輿 33名
- ③ 防災訓練 20名
- ④ 境川調節池見学 13名
- ⑤ 参加なし 161名

B. 参加した行事の感想

- | | | | | | | |
|---------|-------|-----|-------|----|---------|----|
| 「夏祭り」 | ①良かった | 62名 | ②まあまあ | 8名 | ③良くなかった | 0名 |
| 「子ども神輿」 | ①良かった | 29名 | ②まあまあ | 3名 | ③良くなかった | 0名 |
| 「防災訓練」 | ①良かった | 18名 | ②まあまあ | 3名 | ③良くなかった | 0名 |
| 「調整池見学」 | ①良かった | 13名 | ②まあまあ | 0名 | ③良くなかった | 0名 |

C. 不参加の理由(記入のあったもののみ)

- ① 多忙 83名
- ② 体調不良 28名
- ③ 行事があることを知らなかった 6名
- ④ 興味が無い 23名

2. 行事の今後について

A. 「夏祭り」

- ① 今後も実施した方がよい 154名
- ② 実施の必要はない 6名
- ③ わからない 73名

B. 「子ども神輿」

- ① 今後も実施した方がよい 148名
- ② 実施の必要はない 7名
- ③ わからない 79名

【今年度行事に参加された方の自由意見と考察】

《肯定的なもの》

- 地域を理解するうえで行事は必要
- 子供たちは楽しんでた。大人も日頃交流のない方々と会えてとても良かった
- 今後も続けてほしい
- 孫と一緒に参加できて良かった。来年も参加したい

- 子供参加の行事は盛り上がる
- 大人は有料、子供は無料なのが良かった
- 子ども神輿の法被がよかった（同意見多数）
- 子どものために「神輿」はやった方が良い、いい思い出になる
- 高齢で参加はできないが、見学したり、声が聞こえて来るだけでも元気をもらえる（複数あり）

《問題点・提案等》

- 子ども神輿は良い経験だったが、少し時間が長いと感じた
- 他の地域と合同で行うのも良いと思う
- 許可を取ってその場で調理すれば温かいものが食べられて良いのでは？
- 夏祭りは再考の余地あり
- 行事の開催の回覧が回ってきた時にはすでに終了していた（複数あり）

〈考察〉

参加してくださった方々からは肯定的な評価が多く、行事は成功だったかと思えます。（完全否定の自由意見はありませんでした。）その場の調理という提案は、その通りで我々役員も同意見ですが、しかしながら、最近では保健所側の規制が厳しく、なかなか許可がとれません。今回の綿あめに関しても、「着色しないこと」が許可条件でした。今後も調理許可が得られないか再度考えて行きたいと思えます。良いご提案があれば、ぜひ役員にお声かけください。

「回覧が回ってきたときには終わっていた」との報告がいくつかありました。連絡が早く届いていれば、もっと多くの方の参加をいただけたかもしれません。回覧は場合によっては遅れてしまう可能性もありますので、回覧以外の連絡方法も考慮していくべきかと思えます。

一昨年のアンケートで「行事を再開した場合参加されますか？」とおたずねしましたが、その際「是非参加したい・都合がつけば参加したい」の方が108名いらっしゃいました。今回夏祭り参加の方が68名、子ども神輿参加の方が33名ですので、一昨年の参加希望の方のうち、かなりの方が参加して下さっていると考えられます。役員にとっては大変うれしい結果となっております。

しかし「再考の余地あり」という記入もありました。具体的内容は書かれていませんでしたが、ご意見のある方はぜひ役員にお知らせいただければ幸いです。

3. 今後実施を希望する行事の種類

A. 行事の種類

- | | |
|--------------------------|-----|
| ① 盆踊り | 53名 |
| ② 起震車体験のような災害時などの訓練になるもの | 96名 |
| ③ 子供を主体とした何らかの行事 | 71名 |
| ④ 映画などの鑑賞会 | 24名 |
| ⑤ 講演会などの学びの機会を得られるもの | 49名 |
| ⑥ パソコン体験やパソコン教室 | 13名 |
| ⑦ 行事を行う必要はない | 11名 |

B. 行事を行う場合の開催場所について

- | | |
|---------------------|------|
| ① 公会堂前広場 | 148名 |
| ② 公会堂内 | 106名 |
| ③ 屋内（学校の体育館を借用するなど） | 48名 |

【実施を希望する行事についての自由意見と考察】

「防災に力を入れたい」という意見がいくつかありました。

※ 次の防災訓練の考察で詳しく述べます。

《その他の希望行事》

- 高齢者対象の体操教室・リフレッシュできるような健康体操(複数あり)
- フリーマーケット(多数・「被災地への寄付を含む」というものもありました)
- できれば「夏祭り+盆踊り」飲食販売が好評だったので、さらにゆっくりと滞在できるようにしたい
- もちつき(複数・「幼稚園・保育園と連携」という条件がついているものもあり)
- 子どもを対象に移動動物園など呼べないか
- 夏休みの宿題相談会・読書感想文の書き方講座など
- 工作や何かを作る体験など
- 地域高齢者による「町田(金森)の昔話」を聞く会
- 町田ゼルビア・町田プロレスなどのイベント
- 係の方・役員さんの負担の少ない行事(複数)

〈考察〉

さまざまなご意見があり、実行可能なものを考えていきたいと思います。フリーマーケットの希望が多くあります。町内会で行えるか、市にも相談する必要があるかもしれません。もちつきも楽しい行事ですが、事故の発生の可能性も考慮しなくてはならないかと思います。もちつき経験のある方のご意見をお聞きしたいと思いますので、役員までご連絡いただければ幸いです。

【町内会行事全体に関する自由意見と考察】

《肯定的なもの》

- 自分が子どもの頃の行事参加がよい思い出になっている、行事を続けて金森の子どもたちに喜んでもらいたい。
- 子どもが参加する場を作ることで、若い親御さんたちも町内会に参加できる
- 町内会加入率が低下している中、一丁目町内会は頑張っていると思う(複数あり)
- 時間的余裕があれば、夏祭りや子ども神輿のお手伝いもしたい
- 町内会の親睦を深めるためにも可能な限り今年のような行事を続けてほしい
- 家族や会社以外の共同体がなくなりつつあるので町内会の存在はありがたい
- 近所づきあいが希薄になっている今こそ町内会が活動が大切。助け合いが必要になるときが必ず来る
- 町内会行事に参加すると久々に知人に会えたりするので楽しいが、準備する人たちは大変だと思う

《否定的なもの・問題点の指摘》

- 幅広い年代が参加できる行事が望ましいが、参加者の少ないものは無理に次年度に続けなくてもよい
- 小さい行事でも準備・実行・後片付けと大変。省けるものはなくす方向で
- 組長でなくなると参加が難しくなる
- 高齢化による行事・自治会運営の難しさを感じる
- 小さい子どもがいるとか、役員になるとかしないと出席することはない
- 役員の負担にならないようにしてほしい(多数あり)
- 一人暮らしの人でも参加できる(社会参加)行事を
- 年間予定が早めにわかると参加予定がたてやすい
- 周辺の町内会との共同開催をしてはどうか
- 回覧が来るころには行事が終わっていることが多い

〈考察〉

「子供の思い出作り」「町内の親睦を深める」「助け合いが必要な時が必ず来る」等の「町内会必要論」が語られる一方で、「役員負担が重い」「高齢化により町内会活動や行事への参加が困難になる」「子供がいなくなると行事には参加しなくなる」などの問題点が指摘されました。

特に高齢化は大きな問題で、町内会に若い力を引き込みたいのはもちろんですが、現役バリバリの方々はお仕事だけで精一杯という重い現状があります。今後どのような策を進めていけばいいのか、役員会でも議論し

ていますが、会員の皆様のご意見をさらに伺いたいところです。

4. 今後行うべき防災訓練について

① 起震車体験	65名
② スタンドパイプ実習（消火訓練）	48名
③ 消火器実習（消火訓練）	105名
④ AED実習（救命訓練）	103名
⑤ 防犯講話	83名

【防災訓練に関する自由意見と考察】

（3の「実施を希望する行事」にも防災関連のものがありましたので、それも含めています。）

- 防災用品の備蓄品、衛生用品などの使い方がわからない。使い方を映像で見るなどの機会があるとよい
- 災害備蓄品・機材の実習、防災倉庫内にあるものの展示・説明会
- 避難経路の確認実習（複数あり）
- クリーンアップ活動を兼ねて町内を回り、避難場所や災害井戸などの場所を確認・点検するのはどうか
- 通信機器が使用不可になったことを想定しての連絡訓練
- 防災には力を入れたい。災害の際、町内会は何をしてくれるのか。
- 連絡網の再確認、災害用井戸の水の点検（実際に使える状況にあるか）などを知りたい
- 起震車体験実習は継続してほしい
- 防災に強い地域作りについての講演会や自然災害が起きた後の対応に関する講演会
- 災害弱者方がいる家への共助の仕方の検討、いざというときに声をかけあえる環境作り
- 高齢者向け・子供向けそれぞれの防犯講話
- 地域での見守りの強化

〈考察〉

防災への皆様の意識は高く、参考になる意見をたくさんいただきました。防災倉庫内の備品の説明、使い方実習や避難経路の確認は、町内会のみで実施可能ですので、計画を早めに立てたいと思います。

通信機器使用不能の際の対策、井戸水の点検という提言には、はっとさせられました。役員会で議論したいと思いますので、新たなご提案・ご助言があればご連絡ください。実際に災害が起こったときは共助が最も必要となります。声をかけあえる環境作りに町内会としても今後努力を続けて参ります。

防災・防犯関連の講話も実施できるよう各方面と調整を進めたいと考えます。

5. 金森一丁目町内会のホームページについて

① ホームページ開設を知っていた	154名
② 知らなかった	80名

ホームページ閲覧について

① 常時閲覧しようと思う	15名
② 時々閲覧しようと思う	178名
③ 見るつもりはない	26名

【ホームページに関する自由意見と考察】

- QR読み込みでアクセスしたが、「開設中」と表示されて見られなかった
- 不必要な情報が送信されて来るなら見たくない
- 「いちのいち」と「<https://kanamori1.com/>」の使い分けがわからない
- パソコン・スマホを持っていないので見られない（複数あり）

○ 今のままならホームページを見ようと思わない。各組ごとのグループ LINE を作れば災害時の助け合いに役立つと思う

〈考察（というより疑問に思っていることへの答え）〉

多くの方が、「時々閲覧しようと思う」とお答えくださいましたが、自由意見はほとんどが、不安や否定的見解を述べてくださるものでした。

QR 読み込みは最初は不具合がありご迷惑をおかけし、大変申し訳ありませんでした。

「不必要な情報」が来ると迷惑であるのご意見がありましたが、このホームページは金森一丁目のもので、スポンサーなどはありません。ご覧になっても各種の宣伝メールなどが入って来ることはありませんのでご安心ください。

「いちのいち」に関しましては、以前にもお伝えいたしました。運営している小田急グループの方針が変更され、町内会等の活動報告には適さなくなりましたので、一丁目町内会としては使用いたしません。

「<https://kanamori1.com/>」をご利用いただきたいと思います。

またパソコン・スマホをお持ちでない方々には、ホームページ以外での情報伝達方法を考えておりますので、当然ながら無理にご購入の必要などはありません。よろしく願いいたします。

パソコン・スマホはあるが、使い方がわからないという方には、使い方講習等も検討中です。

地域の LINE 作りなども検討すべき時期に来ていると思います。

6. 書類や町田市からのお知らせなどの各家庭への配布について

- ① 今まで通り各家庭に配布した方がよい。 142名
- ② 来年度から配布を望む人を確認し、その家庭にだけ配布するのがよい。 38名
- ③ ホームページ等で確認できるようにし、各家庭への配布は廃止した方がよい。 69名

7. 「令和七年度版 ふれあい帳」の会員名簿の氏名・住所。電話番号掲載について

- ① 今まで通り掲載してよい 94名
- ② 今まで通り掲載してよいが、電話番号は削除する 34名
- ③ 住所等の掲載を希望しない方は、氏名のみとし、他は記載しない 43名
- ④ 会員名簿はすべて氏名のみとし、他は記載しない 46名
- ⑤ 「ふれあい帳」そのものを廃止した方がよい 31名

〈書類配布・ふれあい帳に関する自由意見と考察〉

○ 配布物を減らしホームページで見ってもらうために、高齢者や外国人向けにスマホ勉強会を行うとよい

〈ふれあい帳配布・賛成意見〉

○ 配布した方がよい。係になったときに必要。また回覧板だけが町内会とのつながりになっている家庭もあるので、できる限り全家庭配布が良い

〈ふれあい帳・廃止意見〉

○ 個人情報保護法の観点からもすぐに廃止すべき

○ ここ何年もふれあい帳の会員名簿を使用する機会が無い。廃棄するにもシュレッダー処理が必要で手間がかかる（廃品回収に出している人がいて不安になる）。ホームページもできたことだし、廃止がよい

○ 廃止してグループ LINE に切り替えたらどうか

〈ふれあい帳・やり方を変える〉

○ 災害時の連絡のため、今まで通りの掲載が良いと思うが、電話番号は削除希望がある人のものは削除する

○ 希望する人にもみふれあい帳を配布(複数あり)

○ 世帯主の名前のみ掲載する・配偶者名は削除する・会員名簿には名字のみ掲載、名前も載せない、そのかわり部と組を掲載する、など複数の変更意見

○ ふれあい帳の発行頻度を減らしてはどうか。役員名などの変更部分のみを連絡すればよい

《ふれあい帳・その他》

- 古くなったふれあい帳の処分に困る(多数) ○ふれあい帳の転売が心配

〈考察〉

ふれあい帳に関しては、ご意見が分かれるものと予想しておりましたが、やはり大きく分かれました。昨年新版をお配りしたばかりで、まだ次版までは(配布・廃止を含めて)時間の余裕がありますので、役員会で十分議論したいと考えております。新たなご意見等がありましたら、遠慮無く役員にお伝えくださるようお願いいたします。

旧版ふれあい帳の処分に困るというご意見が多数ありました。ご不要になった旧版ふれあい帳は、町内会で引き取り、町内会の責任で裁断処理等することを検討しております。

8. その他の自由意見・ご感想

- 空き家や留守宅が増え防犯が気になる
- 新しい家が建っても、町内会に入らないなどの問題をどう解決して行くかが課題
- 時代も変わり、役員のなり手も無い今、行事を減らし、活動は最小限していいのでは無いかと思う。防災活動は大切なので、残した方がいいのかもしれない
- 公的なものでも Web やメールリングリストなどに変わっており、回覧板は時代に合っていない(複数あり)
- 金森地区の小型バス運行を再度検討して欲しい。大きな病院やスーパーなどが近くに無く、将来が不安
- 雨水枡の清掃ができるといいのだが…
- 一部の人から威圧的な暴言を受けると協力する気が薄れる。会長や役員の方はそういうことのないように配慮する必要がある
- 役員ができない、やりたくないという方が出てきて、他の人の負担が増えるような状況になったとき、どうするかを考えておく時期に来ていると思う。
- 組長は順番で回ってくると思っていたが、理由も聞かされないままスキップする人が出て驚いた。「やりたくない」ですむなら誰もやらなくなってしまう。検討して欲しい。
- 高齢者・介護者・小さな子供がいるなどさまざまな家庭があり、役員になるのにためらいがある。次回順番が回ったとき体調が悪かったらどうしようと不安である。ずっとやり続けるのには無理がある。会費は払いたいと思う。
- 体調が悪く、組長・部長の仕事ができそうにないため、退会すべきか迷っている
- コミュニティー活動、サークル活動の会場や場所がないのが残念
- 自分たちの町内会なので、少しでもお手伝いをしたい、お手伝いできることには参加したい(複数あり)
- 子供がいると町内会に参加することに意欲的になる。そうで無い家庭も楽しめるものはないかと、時々考える。せっかく会費を払っているのだし、地域のつながりを大切にしたい。
- 催し物や行事、その他の情報を会員に伝達してくれてとても良いと思う
- こうしたアンケートやホームページ・夏祭りなど、様々な角度から金森一丁目を愛し、よくしていこうという熱い思いを感じる
- 年配の方のためにも何か(太極拳・麻雀・軽いスポーツなど)を開催し、交流の場を設けてはどうか(以前はゴルフなど年に数回行われていた)
- 久々に総会に出席したが、会計などの各種報告だけでなく、新しい感じがした。会長の話からも、良い意見や構想があれば取り入れてくれる感じを受けた。大勢の意見・考え方が出しやすい仕組みになれば良いと思う。
- いつもありがとうございます。(多数)

〈自由意見の考察とまとめ〉

防犯・町内会員の減少・役員になることの負担など重要な問題の指摘がありました。

部長・組長になることの大きな負担感や不安は以前から伺っています。「高齢のため部長や組長ができそうもないので、申し訳ないから退会しようかと思う」という感想もお聞きしています。しかし、それでは本末転倒で、共助が最も大切な町内会とは言えなくなってしまいます。同時に一部の方々にのみ負担をおかけするわ

けにも参りません。非常に重要な問題で、なかなか明快な結論は出ませんが、役員会で議論を続けていきます。

今回も多くの方からアンケートのご回答をいただき、大変ありがたく思っております。

自由意見、ご提案も多数頂戴し、心よりお礼申し上げます。

夏祭りは町内会として初めての実施でしたので、連絡などが後手後手に回ってしまい、不参加の方が161名とアンケートにご回答いただいた方の半分以上になっていました。

しかし、ご参加くださった方の9割が「良かった」という評価をくださいました。また「来年度も実施した方がよい」という方が150名以上いらっしゃったので、連絡方法や告知の時期等が改善されれば、もっとご参加くださる方が増える可能性があると思います。

子ども神輿は杉山神社の秋の例大祭のひとつの行事として行っておりますが、これも参加をいただいた方々からは好評でした。揃いの法被を着られて子供たちが喜んでいたという感想を多くいただいております。こちら「来年度も実施を」という意見が150名近くありました。「手伝えることがあれば参加したい」という方もいらっしゃり、大変心強く感じました。

「行事を行う必要は無い」とお考えの方は昨年30名ほどいらっしゃいましたが、今回は10数名でした。何が皆様方のお心をとらえるのか、考察を深めて参ります。また「行事その他必要で無い」とお考えの方もアンケートをご記入くださったことに深く感謝申し上げます。（自由意見をくださった方もいらっしゃり、大変参考になりました。）

町内会の最大の存在意義は災害時の共助にあると思います。皆様、防災の意識は高く、防災訓練に関しての多くのご意見をいただいております。町内会に参加してくださる方を一人でも多くすることが、共助の力を大きくすることにつながります。今後ともよりよい町内会をめざして、活動してまいりますので、ご指導ご鞭撻たまわりますよう、心よりお願い申し上げます。



つながるよろこび、ひろがる安心。

ホーム home 町内会活動 activities 入会案内・会則 membership お知らせ news お問い合わせ contact

金森一丁目町内会は世代をこえて
支えあう地域づくりを進めています



URL: <https://kanamori1.com/>

金森一丁目町内会

検索

